

## COLUMN

### 逃るなり 紙魚の中にも 親よ子よ

～ニューハクシミ、文化財害虫のこと～

大切な文化財が食べられてしまうかもしれません

私たちの大切な文化財に消えることのない傷を与える、厄介で憎むべき文化財害虫たち。最近、日本各地で発見されている新しい文化財害虫をひとつ紹介します。それは紙を食べるシミ(紙魚)の1種、ニューハクシミ。とにかく繁殖能力がすごい。母親が単独で卵を産み、生まれてくる子はすべてメス。いわゆる単為生殖をします。卵1つでも侵入を許すと、あっという間にニューハクシミだらけ、貴重な文書にかじり痕跡が!なんてことも。

そんな恐るべき存在とは裏腹に、透き通るように真っ白な姿、つぶらな瞳、そして親子でお茶目に動き回る様子がとても愛らしい生き物です。憎むべき存在なのにどうしても憎めない、そんなジレンマに苦しむ隠れファンも多い(?)文化財害虫です。

表題に添えた小林一茶の一句からもじわじわとシミ愛を感じます。さて、あなたはニューハクシミを見て可愛いと思いますか?

(保存科学研究センター・佐藤嘉則)



### 下田八幡神社の例大祭(太鼓祭)に行ってきました!

8月14日・15日、伊豆半島の南端、静岡県下田市に、下田八幡神社の例大祭を見に行ってきました。お祭りの見どころは、地域の若者たちが担ぎ、神輿の露払いを務める小型の輿を連ねて作る大きなアーチ!「太鼓橋」と呼ばれるこのアーチが見事に組みあがると、観覧する地元の方から大歓声があがっていました。ただし、今年の酷暑はお祭りをする方々には辛い気候だったようで…お祭りの最中、熱中症で具合が悪くなる方が続出し、来年度以降の課題となるようです。

(無形文化遺産部・後藤知美)



### わたしの調査道具 マグネット貼付メジャー

江戸時代の絵画の研究を専門とする私は、作品調査で画家のサインを撮影するとき、あとで原寸拡大できるようメジャーを写し込みます。そこで活躍するのが、この道具。薄いマグネットにメジャーを貼った簡単なものですが、掛軸の表具の部分に当て、裏側からマグネットで挟むと磁力で位置が固定されます。さらにこのメジャーは、拡大写真を撮る際にも必須。メジャーの目盛りを写し込んでおけば、写真を同倍率で拡大し、絹などの材質を比較できます。一人の調査でも安心。私の調査には欠かせない相棒です。

(文化財情報資料部・安永拓世)



### 映画のなかのアジアの街・建築

第1回 密林のアンコール遺跡群

——「トゥー・ブラザーズ」

古今東西、映画に描かれてきた街や建築。ときに空想の建築物が主役となったり、ときに歴史上の街が再現されたり、世界遺産をバックに撮影された作品もあります。1920年代、植民地時代のカンボジアを舞台にトラの兄弟の別離と再会を描いた「トゥー・ブラザーズ」。迫力あるトラの映像、当時の生活の再現など、見どころが多くあるなか、密林に浮かびあがる、アンコール遺跡群の遠景が象徴的に描かれます。映像の一部は、アンコールから40kmほど東方のベン・メアレア寺院で実際に撮影されたそうです。監督のジャン=ジャック・アノー氏は、火災にあったノートルダム大聖堂も2022年に映画化しています。画面に映る建築の物語もあわせてご覧ください。

[作品情報]

題名|トゥー・ブラザーズ

監督|ジャン=ジャック・アノー

出演|ガイ・ピアース、フレディ・ハイモア、他

公開|2004

(文化遺産国際協力センター・黒岩千尋)



撮影地のひとつであるベン・メアレア寺院

※今回、題字の裏面には紙魚(シミ)による食害をイメージしたデザインを採用しています。文化財害虫の食害により貴重な文字情報が失われてしまうことを、視覚的に感じていただけるのではないのでしょうか。